

平成28年度事務事業評価シート(27年度実績)

◎基本情報

事務事業名	スーパー改革プラン推進事業		担当部署	企画総務部 財政課	
総合計画体系			根拠法令 計画など		
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり	事業 期間	開始	平成 <input type="text" value="27"/> 年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なんと			終了
(小項目)		行財政運営			
施策	5	効率的・効果的な行財政運営の推進			
基本事業	1	スーパー改革プランの推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 公営企業会計や各特別会計を含めた全部門														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	市の全部門の全体最適を考慮しながら、財政健全化や行政運営の効率化、職員と組織の能力向上など、有限な資源を最大限に活用するとともに、市民や地場企業等との協働による取り組みの推進など、地域力のさらなる向上を図り、経営体としての本市の総合力を高める。														
事業計画	27年度に何を計画していたか	前年度に引き続き、パブリックコメント結果を踏まえ、計画の最終案を取りまとめ、第2回定例会にて、議会報告を行う予定である。その後、広報紙や市公式ウェブサイトにて、計画内容の周知を行うとともに、自治振興会などへの説明を順次行うこととしている。 また、本計画の計画期間は平成27年度からとしていることから、職員説明会の開催等を行い、計画の最終確定を待たずに、取り組みを進めていくこととしている。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通会計基金残高</td> <td>1,706</td> <td>3,134</td> <td>2,444</td> <td>2,317</td> <td>2,274</td> <td>百万円</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位	普通会計基金残高	1,706	3,134	2,444	2,317	2,274	百万円
指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位										
普通会計基金残高	1,706	3,134	2,444	2,317	2,274	百万円										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	27年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	本市の新たな行財政改革の指針となる「鳴門市スーパー改革プラン2020」を平成27年5月に策定した。策定にあたっては、外部有識者から構成される「行財政改革懇話会」を開催し、専門的な見地からの意見を反映させるなど、より実行力を持たせた計画へと見直しを行った。また、計画内容については、地区自治振興会への説明会を開催し、情報共有に努めるとともに、広報紙や市公式ウェブサイトを通じて広く周知を行った。						
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他							
指標名		26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	普通会計地方債残高(臨時財政対策債を除く)	17,504	17,234	19,465	19,506	18,779	百万円
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	普通会計基金残高		3,301	3,410	—	—	—	百万円
	目標達成率(実績/目標)			108.8	—	—	—	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり				

(千円)

財源内訳	平成27年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額		0	0	0	0	70	70
		全体予算額		0	0	0	0	70	70
		決算額		0	0	0	0	25	25
		繰越額		0	0	0	0	0	0
	人件費		正規職員(6,859千円/人)	臨時職員(2,071千円/人)	総人件費		総事業費		
		0.8	0.0	5,487		5,512			

【事務事業名：スーパー改革プラン推進事業】

(千円)

事業費推移	年度	26年度決算	27年度決算	28年度	29年度	30年度
	事業費	130	25	-	-	-
	うち一般財源	130	25	-	-	-
	人件費	11,005	5,487	-	-	-
	総事業費	11,135	5,512	-	-	-

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		新たな行財政改革計画の策定につながった。
	効率性	B:概ね効率的だった		計画推進に向けた職員の意識改革を図り、限られた財源・人的資源で行財政運営に取り組めるよう、全職員を対象とした研修を行った。
②成果に対する評価	指標名	普通会計基金残高		普通会計基金残高について、計画期間初年度から目標を上回る額を確保することができた。
	目標	3,134	百万円	
	実績	3,410	百万円	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		新たな行財政改革計画の策定を図ることができ、計画初年度から目標を上回る基金残高を確保できたことから、A評価としたい。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	これまでの継続した行財政改革の結果、全庁的な取り組みや市民等に新たな負担を求めていくような難しい課題が多く残っているため、これらに対して効果的かつ効率的なアプローチを検討し、適切な進捗管理を行う必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	平成28年度	スーパー改革プラン2020に掲げる各種取り組み事項の着実な推進を図る。			
	平成29年度	同上			